

## 第69回優良公民館表彰について

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しております。この度、第69回優良公民館表彰について決定しましたので、お知らせします。

1. 表彰館 浦幌町中央公民館 外72館

2. 表彰式

(日 時) 平成29年3月1日(水) 10時00分～15時00分

(場 所) 文部科学省第2講堂

千代田区霞が関3-2-2

3. 選考の経過等

都道府県教育委員会から推薦のあった公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設について、優良公民館審査委員会で審査の上、表彰館とそこから特に優れた活動を行った5館を「優秀館」として文部科学大臣が決定しました。

さらに、表彰式当日、「優秀館」5館の中から「最優秀館」1館を選定するために、会場でインターネットによる中継を行いながら5館が活動内容のプレゼンテーションを行い、インターネット視聴者・会場からの投票結果を踏まえた審査の上で、**西予市遊子川公民館**が「最優秀館」の栄誉に輝きました。

### 【最優秀館】

西予市遊子川公民館（愛媛県）

### 【優秀館】

郡山市立大島地域公民館（福島県）

白山市立林中公民館（石川県）

福井市和田公民館（福井県）

鳥取市立成器地区公民館（鳥取県）

第69回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	No.	都道府県名	ふりがな 公民館名
1	北海道	うらほろちようちゆうおうこうみんかん 浦幌町中央公民館	38	静岡県	ふじのみやしりつにしこうみんかん 富士宮市立西公民館
2	北海道	くねつぷらちようこうみんかん 訓子府町公民館	39	静岡県	はままつしてんりゆうきょうどうせんたー 浜松市天竜協働センター
3	北海道	そうべつちようちいききゆうりゆうせんたー 壮瞥町地域交流センター	40	愛知県	おおぐちちようちゆうおうこうみんかん 大口町中央公民館
4	青森県	ごしょがわらしちゆうおうこうみんかん 五所川原市中央公民館	41	愛知県	へきなんしりつちゆうぶこうみんかん 碧南市立中部公民館
5	青森県	ろくのへまちちゆうおうこうみんかん 六戸町中央公民館	42	滋賀県	ひのちよりつみなみひづきこうみんかん 日野町立南比都佐公民館
6	岩手県	かねがさきちようみかじりちくこうみんかん 金ヶ崎町三ヶ尻地区公民館	43	京都府	きょうたんごしあみのちいきこうみんかん 京丹後市網野地域公民館
7	岩手県	くじしりつおわかめこうみんかん 久慈市立大川目公民館	44	兵庫県	かこがわしりつひがしかこがわこうみんかん 加古川市立東加古川公民館
8	岩手県	みやこじにいきとしようがいぐくしゅうせんたー 宮古市新里生涯学習センター	45	奈良県	ならしりつとみおこうみんかん 奈良市立富雄公民館
9	秋田県	だいせんしりつせんぼくこうみんかん 大仙市立仙北公民館	46	鳥取県	ととりしりつせいいきちくこうみんかん 鳥取市立成器地区公民館
10	秋田県	ごじょうめまちちゆうおうこうみんかん 五城目町中央公民館	47	鳥取県	よなごしかすがこうみんかん 米子市春日公民館
11	山形県	ひがしねしながとろこうみんかん 東根市長瀬公民館	48	島根県	まつえししなまこうみんかん 松江市島根公民館
12	福島県	ごおりやましりつおしまいちいきこうみんかん 郡山市立大島地域公民館	49	岡山県	やかげちようなかがわこうみんかん 矢掛町中川公民館
13	福島県	ふくしまほうらいがくしゅうせんたー 福島市蓬萊学習センター	50	岡山県	おかやましりつさいだいじこうみんかん 岡山市立西大寺公民館
14	茨城県	みとしさんのまるしみんせんたー 水戸市三の丸市民センター	51	広島県	ひろしましゅうたこうみんかん 広島市牛田公民館
15	群馬県	まえばしあずまこうみんかん 前橋市東公民館	52	広島県	たけはらしりつただのうみひがしこうみんかん 竹原市立忠海東公民館
16	群馬県	たかきしなかがわこうみんかん 高崎市巾着公民館	53	広島県	しょうばらしさいじょうじしんこうせんたー 庄原市西城自治振興センター
17	埼玉県	ふかやしふかやこうみんかん 深谷市深谷公民館	54	山口県	いわくにしちゆうおうこうみんかんつづぶんかん 岩国市中央公民館通津分館
18	埼玉県	かすかべしたけさとちくこうみんかん 春日部市武里地区公民館	55	山口県	さんようおのだしちようこうみんかん 山陽小野田市厚陽公民館
19	埼玉県	つるがしましひがししみんせんたー 鶴ヶ島市東市民センター	56	山口県	うべしかみうべふれあいせんたー 宇部市上宇部ふれあいセンター
20	千葉県	たてやましちゆうおうこうみんかん 館山市中央公民館	57	徳島県	あなんしりつとみおかこうみんかん 阿南市立富岡公民館
21	千葉県	ふなばししとうぶこうみんかん 船橋市東部公民館	58	愛媛県	せいよしゆすかわこうみんかん 西予市遊子川公民館
22	千葉県	たこまちこみゆにていびらざ 多古町コミュニティプラザ	59	高知県	なんこくりつつくごぶこうみんかん 南国市立国府公民館
23	神奈川県	あつぎしりつあいかわこうみんかん 厚木市立相川公民館	60	福岡県	おおむたしめいけちくこうみんかん 大牟田市三池地区公民館
24	神奈川県	あつぎしりつおぎのこうみんかん 厚木市立荻野公民館	61	福岡県	かんだちりつきたこうみんかん 荻田町立北公民館
25	新潟県	いずもぎまちちゆうおうこうみんかん 出雲崎町中央公民館	62	福岡県	むなかたしのうそんじよせいのいえ 宗像市農村女性の家
26	富山県	かみいちちりつつかきざわこうみんかん 上市町立柿沢公民館	63	佐賀県	さがしりつたかぎせこうみんかん 佐賀市立高木瀬公民館
27	富山県	となみしりつあおしまこうみんかん 砺波市立青島公民館	64	長崎県	ごとうしききやまちくこうみんかん 五島市崎山地区公民館
28	石川県	はくさんしりつはやしなかくこうみんかん 白山市立林中公民館	65	長崎県	しまばらしりつすぎたにこうみんかん 島原市立杉谷公民館
29	石川県	はくいしりつ ちりはまこうみんかん 羽咋市立千里浜公民館	66	熊本県	なごみまちみかわこうみんかん 和水町三加和公民館
30	福井県	ふくいしりつわだこうみんかん 福井市和田公民館	67	大分県	おおいたしおおいたなんぶこうみんかん 大分市大分南部公民館
31	福井県	えちぜんしおおむしこうみんかん 越前市大虫公民館	68	大分県	ひたしひがしありたこうみんかん 日田市東有田公民館
32	福井県	みはまちしりつしやうがいぐくしゅうせんたーなびあす 美浜町生涯学習センターなびあす	69	宮崎県	しんとみちちゆうおうこうみんかん 新富町中央公民館
33	長野県	うえだしりつえのおかこうみんかん 上田市上野が丘公民館	70	鹿児島県	とくのしまちようしやうがいぐくしゅうせんたー 徳之島町生涯学習センター
34	長野県	いなしみすくこうみんかん 伊那市美郷公民館	71	鹿児島県	かごしましちゆうおうこうみんかん 鹿児島市中央公民館
35	岐阜県	ぐじょうしりつちりちいきこうみんかん 郡上市白鳥地域公民館	72	鹿児島県	かのやしたかすちくがくしゅうせんたー 鹿屋市高須地区学習センター
36	岐阜県	えなしなかのほうこみゆにていせんたー 恵那市中野方コミュニティセンター	73	沖縄県	なはしりつみなみこうみんかん 那覇市小祿南公民館
37	静岡県	しまだしりつろくこうこうみんかん 島田市立六合公民館			

…公民館
  …公民館と同等の施設
  …最優秀館
  …優秀館

第69回(平成28年度)優良公民館表彰一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
1	北海道	うらほろちようちゆうおうこうみんかん 浦幌町中央公民館	本館は昭和28年12月に設置した浦幌町で最初の公民館である。その当時から公民館を中心として活発な社会教育事業が進められ、現在では町内4箇所に公民館を配置し、「地域に即した社会活動を行う場」として、地域課題の解決や町民ニーズにより活用されている。市街地区に位置する中央公民館は、博物館や大学、学校、子育て支援センター等の関係機関と連携した多様な事業を展開し、平成26年度から導入した「高齢者等の公共施設免除利用」の制度等を活用しながら、地域コミュニティの再活性化に取り組み、年間来館者数は18,000人を超えている。 さらには、平成22年度には「浦幌町教育の日」を制定し、地域総ぐるみの教育を展開し、中央公民館を会場に年2回の教育実践交流会を開催するなど、小中一貫コミュニティ・スクールの取組を通して、家庭・学校・地域社会がそれぞれの教育力を高めるための中核となる役割を占める施設である。
2	北海道	くんねつぶちようこうみんかん 訓子府町公民館	学びを通じて人と人・人と地域・団体と団体・地域と地域がつながり、絆を深め、よりよい訓子府町のまちづくりを進めている。「学びで創る、人と地域の絆」を将来像に掲げ、人がつながる地域を創るため、文部科学省委託事業の「防災キャンプ」を実施し、「地域」を基礎として、家庭、学校、関係団体、企業等をネットワーク化した「地域プラットフォーム」を形成し、実践を学び合う「くんねつぶの未来づくり大会」や「わくわく地域づくり活動支援事業」等の取組を推進している。 また、学校支援地域本部事業や放課後子供教室、子育て支援事業「はぐくみ講座」、高齢者教育推進事業を実施し、広く幼児から高齢者に対応した取組を通じて、町民のニーズに答え、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる社会教育の拠点となっている。 各事業については、活動状況の点検・評価を実施し、議会に報告するとともに、公民館利用者懇談会を行い、安全で効率的な運営を進めるとともに、今後の課題解決や事業展開等に活かしている。
3	北海道	そうべつちようちいきこうりゆうせんたー 壮瞥町地域交流センター	壮瞥町は、道南の人口2700人弱の小さな町であるが、洞爺湖周辺、オロフレ峠一帯は支笏洞爺国立公園に指定され、また有珠山、昭和新山の雄大かつ美しい自然を有している地域である。この美しい自然環境を生かすために、第4次壮瞥町町づくり総合計画で『「自然、ひと、まち」が響き輝くそうべつ〜火山のもたらした、めぐみの郷〜」を掲げ、各ライフステージに応じた学習活動を進めている。 中でも昭和58年から現在まで継続されている小学3年生から6年生の児童を対象に「子ども郷土史講座」では、世界ジオパークに認定されている有珠山や昭和新山、洞爺湖など豊かな自然に恵まれた環境を舞台に、郷土の歴史や、自然環境、火山防災などを学習し、子どもたちが生まれ育っている町を知ることにより、郷土理解や郷土愛を育み、興味・関心を深め健全な育成に努めている。
4	青森県	ごしよがわらしちゆうおうこうみんかん 五所川原市中央公民館	五所川原市は人口56,893人(平成28年3月現在)、五所川原市中央公民館は市町村合併前から設置され、現在も旧五所川原市を中心に事業が行われており、社会教育を推進する拠点施設として重要な役割を果たしている。当公民館では住民の生涯学習推進のために様々な事業を実施しているが、趣味・教養に関する講座にとどまらず、地域課題の解決に資する学習機会の提供にも努めている。 その中の『ハートネットを作ろう!“ちょっと気になる子”への支援事業』は健康推進課、地域の子育てに関わる団体、民生委員・主任児童委員などと連携・協働した家庭教育支援事業である。 この事業により、公民館に子育て世代の住民がたくさん集まるようになり、「発達障害」が心配される子どもを持つ親が孤立しないような親どうしのネットワークづくりにもつながっている。
5	青森県	ろくのへまちちゆうおうこうみんかん 六戸町中央公民館	六戸町は人口10,937人(平成28年1月現在)、六戸町中央公民館は町住民の学習活動に大きく貢献し、社会教育の拠点となっている。 学習プログラムが空白だった青年層向けに、地域の特色を生かした内容にして開設した「青年講座」、企画段階から受講者に参加させる「夢生(ゆめおい)学習塾」等、地域の実態に即した学習プログラムの開発や学習意欲の喚起を意識した取組を行っている。 また、IT講習会としてSNS入門講座、タブレットPC体験講座を実施する等、時代の流れに即応した学習プログラムの改善も図られている。
6	岩手県	かねがさきちようみかじりちくこうみんかん 金ケ崎町三ヶ尻地区公民館	金ケ崎町は「生涯教育の町宣言」から37年を数える。「まちづくりは人づくり」の基本理念のもと、各地区公民館がまちづくりの中核となり、地域資源を活かした様々な学習機会や学習情報を提供している。特に、三ヶ尻地区公民館は、学校や自治会等との連携を密にし、世代間の交流促進と地域の連帯感を高める事業を実施し、住みよい地域づくりに努めている。地域住民が一体となった活動を積極的に展開することで、地域の輪を広げるとともに郷土愛を育成している。「“天まで届け復興の祈り”風揚げ大会&B級グルメ大会」は子供から大人まで幅広い参加のもと行われ、コミュニティ形成、絆づくりに大きく貢献している。
7	岩手県	くじりつおおかわめこうみんかん 久慈市立大川目公民館	当公民館の対象地域(久慈市大川目町)の人口は2,600人、世帯数は1,130戸、高齢者率が36.2%の地域である。これまでの公民館の取組があり、地域住民の自治力が高いことが特徴的である。台風10号被災の際は、住民が自主的に炊き出し活動を行った。事業では、地域団体(まちづくり協議会、学校等)と連携・協働する事業が多く、地域のつながりの強さを活かした取組が展開され、イベント型事業では住民のほとんどが参加するなど、貴重な交流の場となっている。特色ある事業として、「むかし語り部教室」が挙げられる。地域について学んだ小学3年生全員が、地域の講師と共に地域の昔話の語り部の練習に取り組み、その成果を住民の前で披露する。練習には5か月ほどの期間を費やす。子供、学校、PTA、地域が一体となる事業である。
8	岩手県	みやこしにいさとしようがいがくしゆうせんたー 宮古市新里生涯学習センター	当該センターは、宮古市新里地区を中心とした生涯学習・社会教育の「学びの場」として、多くの地域住民に親しまれている。また、事業の企画・運営に際しては、地域住民や各種団体等と連携したり外部の声を事業改善に取り入れたりするなど、開かれた施設運営に努めている。平成28年度からは、宮古市新里小学校と地域が連携・協働して取り組む新里小学校支援地域本部の活動拠点としての役割も引き受け、「学校を核とした地域づくり」の牽引役を果たしている。今後の展望として、教育振興運動と学校支援地域本部事業との連動を図った、地域住民が学んだことを活かせる学習循環の場づくりや、学びを通じた地域の課題解決の場づくりを目指している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
9	秋田県	だいせんしりつせんぼくこうみんかん <b>大仙市立仙北公民館</b>	昭和40年に公民館が設置され、平成6年に仙北ふれあい文化センター内に移転して以来、文化の拠点、地域に根差した生涯学習の場として、地域の団体や住民が多数利用している。地域での取組を生涯学習情報誌「かけはし」や大仙市生涯学習情報誌「こすもす」で全市的に発信することが、利用者の拡大につながっている。 子どもを対象とした「おらだの体験学校『サタデーキッズパーク』」は、地域の子どもたちに安全安心な居場所を提供することを目的として、季節に合わせた活動を実施している。作ることの喜びはもちろん、友達と協力するからこそ成し遂げられる体験活動の場を提供している。また、子どもの参加者の増加に伴い、同伴する保護者も増え、子どもと親、そして地域住民との交流の拠り所になっている。
10	秋田県	ごじょうめまちちゅうおうこうみんかん <b>五城目町中央公民館</b>	子どもから高齢者まで全ての年代を対象とした学級・講座が開催され、地域住民にとっては交流の場として利用されている。また、高校生を含む若い世代の利用を図るため、地元の高校や地域の団体との連携を図りながら指導者サポーターを養成している。 町の伝統芸能である番楽において、5地域のうち1地域のみが活動している状況であったことから、活動を継続している山内番楽を町の番楽として位置付け、後継者となりうる小・中学生を対象に「子供番楽教室」を実施している。伝統芸能の保存と継承や伝統芸能をととした地域と子どもたちの交流などにより、学校・家庭・地域の連携や協働が一層深まり、町民や子どもたちの地域や伝統芸能に対する意識も高まった。
11	山形県	ひがしねしながとろうこうみんかん <b>東根市長瀬公民館</b>	地域住民の自発的な学習意欲を尊重しながら、学校や各種団体と連携し、参加者のニーズに合った学習機会を提供していることから、講座や教室の人气が高く参加者からの評価も高い。また、地区事業や環境整備事業においては、地域住民が自主的に参加できるような環境づくりに積極的に取り組んでいることから、参加人数も多く住民の意識変革にも大きく寄与している。 特に地域の伝統芸能である「長瀬猪子踊り」を小学生に伝承する「猪子踊りクラブ」は地域全体でその活動をサポートし、市内外で猪子踊りを披露することにより、長瀬地区の知名度の向上を図るとともに、小学生の愛郷心の育成、担い手意識の向上が図られている。
12	福島県	こおりやましりつおしまちいきこうみんかん <b>郡山市立大島地域公民館【優秀館】</b>	当公民館は、基本理念を「地域連携による支えあう地域づくり」とし、地域住民、地縁組織が一体となった地域づくりに取り組んでいる。 特に、地域振興を目的とした地域住民参画型の「ともに支えあう地域づくり事業～大島クリスマスふれあいコンサート～」では、音楽をととした相互交流と音楽文化の研鑽に地域ぐるみで取り組んできた。その結果、コンサート事業は地域の新たな名物事業となり、地域振興に貢献するとともに、出演した小中学校は、合唱の部においてNHK全国音楽コンクール等の県・東北・全国大会において連続上位入賞を果たすなど着実な音楽技術の向上と成果をあげ、音楽都市こおりやまの普及・啓発に貢献した。現代的な課題の解決のため、公民館のコーディネート力を活かした事業を精力的に行う姿勢と事業成果は、他の公民館の模範となっている。
13	福島県	ふくしましほうらいがくしゅうせんたー <b>福島市蓬萊学習センター</b>	当学習センターでは、時代の変化や地域の各年代層のニーズを的確に把握しながら、各ライフステージに応じた講座を開講している。また、地域課題の解決に向けた取組としての市民公開講座や市民学校を実施している。これらの講座の中でも特に、ほうらい科学クラブは福島大学と連携した取組で、子どもが興味を持って取り組める青色ダイオードや再生可能エネルギーなどを取り上げ、工作や実験をととしてこれらの理解を深めている。また、他校児童との交流や異年齢活動をとおして社会性を育てている。 当学習センターの運営にあたっては、運営審議会を年6回開催し、活動内容にPDCAサイクルを機能させるなど、適切な運営を行っている。
14	茨城県	みとしさんのまるしみんせんたー <b>水戸市三の丸市民センター</b>	当施設は、昭和62年4月1日に三の丸公民館として開館、平成6年12月20日に現在地に移転した。平成18年4月1日より教育委員会所管の公民館と市長部局の市民センターを併設し、平成22年4月1日より市長部局に移管により、三の丸市民センターに名称変更となり現在に至っている。所管区域は水戸駅周辺の市街地であり、歴史的景観が多数保存されている地域である。 平成16年の文部科学省「地域子ども教室推進事業」により、地域の住民が指導者となり、体験・交流活動を通して、子どもたちを地域社会の中で育てる「わくわくミステリーサタデー」を継続的に実施している。平成14年より、各種の学習活動の成果を毎週土曜日に無料開放して地域のまちづくりにつなげる「三の丸オープンスクール」を実施している。
15	群馬県	まえばしあずまこうみんかん <b>前橋市東公民館</b>	前橋市東公民館は、地域課題への対応という公民館としての立場や役割を明確にし、課題解決のための講座等を積極的に開催している。特に、子育て世代の増加に対応した「家庭教育事業」は親子のふれあい遊び、こどもの病気やけが、調理実習などさまざまな角度から家庭教育を学ぶ機会を地域住民に提供している。さらに未就学児を持つ母親を対象とした「家庭教育学級」の他、父親対象の「お父さん講座」や地域での子育て支援を推進するための「子育て支援講座」も実施しており、幅広い家庭教育支援を行うことにより、地域課題の解決に寄与している。また、市内の大学や病院、専門学校等さまざまな外部機関と連携した事業を展開し、地域住民の学習活動を支援している。
16	群馬県	たかさきしながわこうみんかん <b>高崎市中川公民館</b>	高崎市中川公民館が位置する中川地区では、多くの地域が直面している少子高齢化や近隣住民同士の助け合い機能の低下という地域課題を抱えている。そのような課題の解決に向けて、地域住民や来館者への積極的な声かけや公民館だよりを用いた地域情報の発信、講座開催などを通して、地域との信頼関係づくりや多様な関係機関とのネットワークづくりに精力的に取り組んでいる。地域が誇る伝統芸能の継承や地域の防災活動のきっかけづくりなど、地域におけるコーディネーターとしての功績をあげている。
17	埼玉県	ふかやしふかやこうみんかん <b>深谷市深谷公民館</b>	深谷市深谷公民館は、市民館協会事務局や県公民館連絡協議会と緊密に連携を図るなど、市内12公民館相互の連絡等、中心的な役割をもつ公民館として位置付けられている。また、旧中山道深谷宿における公民館として、地域住民の生涯学習とコミュニティーづくりの中心施設となっている。 平成13年度より実施しているサケ放流事業は、市内中心部の川までサケの遡上が確認され、地域に定着した事業となり、参加者が自然との関わりに興味をもち、命の大切さを実感するなど事業効果が高い。 当該公民館は、地域住民のニーズや地域の特色を生かした事業に継続的に取り組み、また新たな事業にも積極的に取り組む姿勢を見せており、市内の公民館の模範となり、地域住民の学習活動に大きく貢献している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
18	埼玉県	かすかべしたけさとちくこうみんかん 春日部市武里地区公民館	春日部市武里地区公民館は、高齢者福祉センターとの複合施設であり、高齢者の利用が多いという実情を生かしながら、年間35事業を展開している。特色ある事業として「防災対策事業」を行っている。平成25・26年度文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」により事業が開始され、その後も発展的に事業が展開されている。 また、当該公民館は宿泊避難訓練や定期的に開催する「ぼうさいカフェ」など多彩なプログラムを、地域住民の声を取り入れながら実施し、防災をきっかけにした地域づくりを進めており、公民館近隣の4自治会との連携をさらに深め、地域づくりに大きく貢献している。
19	埼玉県	つるがしましひがししんせんたー 鶴ヶ島市東市民センター	鶴ヶ島市東市民センターは、平成27年、東公民館より改編となったが、利用者の会等の活動は継承され、地域づくりの拠点として、住民相互の理解を深めるための活動が多くなされている。市民の森が隣接しているという特徴を生かし、「キャンドルナイト」をはじめ、年間を通じて、地域に密着した行事が定着している。当センターはNPO法人と連携して、「たけのこ掘り」等の様々な取組を実施している。 また、身近な森を活用して、地域の住民を巻き込み、子供たちの自然を愛する心を育成するとともに、世代間交流を図ることに熱心に取り組んでいる。
20	千葉県	たてやましちゅうおうこうみんかん 館山市中央公民館	昭和58年に開館以来、館山市の「まちづくり」「人づくり」の拠点として活動してきた。現在、約4万8千人の市民を対象に、多様な学習機会を提供している。館山市は千葉県最南端の市であり、近年都市部からの転入も増えている。恵まれた自然環境をもとめて都市部の大学等の施設も点在しており、それらの大学と連携して専門性の高い講座を展開したり、地域の高等学校や企業と連携したりして、事業を行っている。 ふるさと講座は、地域で育まれてきた歴史、豊かな自然、語り継がれてきた人の暮らしをテーマに、地域のことを学ぶ導入的役割を持つ講座として、年8回程度開催している。講義のみではなく、現地学習を取り入れながら、分かり易く地域のことを学ぶことができるようしている。一例として、近隣市で4年に一度行われる大祭を見学し、座学で得られた知識を現地学習で更に深めることができた。
21	千葉県	ふなばししとうぶこうみんかん 船橋市東部公民館	昭和28年に船橋市公民館前原分館として設立し、昭和35年に東部公民館として開館した。昭和52年に現在の場所に新築開館し、前原東、前原西、中野木をエリアとして活動し、周辺の5公民館の中心館となり、地域の社会教育・生涯学習の拠点として活動している。現在登録されているサークルは491団体、活動回数6,621回、延べ参加者数は113,450人となっており地域の実態に合わせた様々な活動を展開している。 東部公民館では家庭教育のより一層の充実を図るため、「地域で子育て、親・子・孫の三世代共育ち」を目標に、家庭教育支援ボランティアの育成に取り組んでいる。東部公民館で活動する子育てに関連する団体で構成された「子育て連絡会」と協働で学習会やイベントを実施している。家庭教育セミナー「地域でつながる子育て講演会」も「子育て連絡会」の中心団体が実行委員となって講座が実施された。
22	千葉県	たこまちこみゆにていぶらざ 多古町コミュニティプラザ	多古町には現在公民館がなく、平成4年の開館以来、町民に社会教育・生涯学習の拠点として、活動してきた。文化ホールが併設しておりコンサート等も行われている。また、ホールを使った主催事業等も行っており、文化の拠点にもなっている。 「多古っ子カレッジ」は、学校週5日制となり地域社会で子どもたちを育てる事業の一環として、平成12年から始まった。自分たちの郷土を深く知り、郷土に誇りと愛情を持てるようにしたい、という願いのもと、そこに関わる地域の大人たちのネットワーク作りを目指している。「心の教育」の推進、「地域・町づくり」に参画するための環境整備、関係機関・団体との連携による「多彩な体験活動」の実現という3つの視点にたち、子どもたちの「生きる力」を育むことを目的としており、自然や産業・文化に関わる活動や、奉仕活動やふれあい活動といった、体験活動を中心に地域の人材と特色を生かしている。
23	神奈川県	あつぎしりつあいかわこうみんかん 厚木市立相川公民館	相川公民館は、昭和30年に町村合併により相川村役場跡地に設置され、平成2年に現地に新築移転した。地域の各種団体や近隣の小学校・中学校等、ジュニアリーダーなどと連携し、子どもたちの積極的な地域参画を図りながら、地域に根差した特色のある公民館活動を行い、地域コミュニティの活性化に取り組んでいる。また、古くから郷土に伝わる民俗芸能や芸術鑑賞を実施し、地域住民の芸術に対する理解とふるさとへの愛着を深める活動を行っている。 平成27年度は「第16回こどもまつり」を市制60周年記念事業として実施し、タイムカプセル事業、なつかしの写真展、地域内の小学校・中学校・保育所による環境エコ活動の事例発表等を行い地域に対する愛着形成に大きな貢献をしている。
24	神奈川県	あつぎしりつおぎのこうみんかん 厚木市立荻野公民館	荻野公民館は、昭和31年に荻野村役場跡地に設置され、平成22年に現地に新築移転した。地域の方々と一体となって協働での公民館運営を実施し、地域の絆を育んでおり、小学校・中学校、大学等とも連携、地域の教育力を活かした取り組みを展開している。また、地域の歴史を研究し、その良さを再発見する機会の提供を通じて、ふるさとを愛する心を醸成し、魅力ある地域づくりを推進する事業を実施している。 平成27年度は「荻野の歌」制作を市制60周年記念事業として実施し、1年をかけて実行委員会で歌詞の募集・決定を行い、地域の作曲家に依頼し完成した。その後、歌にあわせた振付をして、発表会を行い、小学校の下校放送での使用、公民館まつり等で活用するなど、新旧の住民が荻野のよさを再発見することに役立った。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
25	新潟県	いずもぎさまちちゆうおうこうみんかん 出雲崎町中央公民館	出雲崎町は、人口約4,700人の、日本海に面した海岸部と山あいの農村部をもつ町である。人口減少と少子高齢化が急速に進み、ライフスタイルの変化にともない、地域の伝統文化が失われ、地域のつながりも希薄化してきている。この現状を踏まえ、伝統文化が地域の宝として地域住民に大切に継承されるよう事業に取り組んでいる。 事業の中核として、当町が「良寛」生誕の地であることから、「良寛学習」を実施している。町として、「出雲崎町立小・中学校良寛学習実施要領」を作成し、小中学校の9年間にわたり、良寛に関する事柄を体系的に学習できるよう、当該公民館が中心となって運営している。また、一般向けに、「良寛講座」も実施し、良寛の文化的価値について町民の理解が深まる工夫もしている。地域に根ざした文化振興や地域の活性化を図るために、青少年教育関連の事業が充実している点も当該公民館の特色である。
26	富山県	かみいちちりつつかさざわこうみんかん 上市町立柿沢公民館	あたたかい人間関係や潤い、生きがいのある充実した生活を築くために地域住民の「ふれあい・集い」の場として、地域住民自らの興味や関心にしたがって、あるいは社会の要請に応えるために知識及び技術を「学びあう」場として、地域の様々な機関・団体間のネットワークを「結ぶ」場として、地域住民の最も身近な社会教育施設の拠点づくりに取り組んでいる。特に、地域住民同士の親睦を深めるとともに、地域の子供たちを守り育てる意識の醸成に寄与しており、地域住民の協働による地域づくりの取組みの促進にもつながっている。
27	富山県	となみしりつあおしまこうみんかん 砺波市立青島公民館	青島公民館は、市街地にある地域性をうまく利用して学校との緊密な連携を図り、ひいては当公民館を土曜学習の場にも活用して子供たちを公民館活動の中心においた事業を展開している。三世代が交流する米作りによって、子供たちに学習の機会を与えらるとともに高齢者には教え手になってもらう生きがいの場も作り、そこに親世代も巻き込んだ本市の推進する三世代交流の良いお手本となっている。 ライフスタイルの変化や少子化の現代において、新たな人材を発掘して子供たちが地元を好きになるような事業の実践は、将来的にも重要である。
28	石川県	はくさんしりつはやしなかこうみんかん 白山市立林中公民館 【優秀館】	昭和21年の開設以来、70年に渡って地域の歴史や伝統の学びを通じた住民の絆づくりを進めてきた。宅地化や大型ショッピングセンターの開設などで周辺環境が大きく変わる中、新旧住民の融和の要となっている。 代表的な活動の一つが、地区の歴史や人、文化について住民の手で調べまとめた小冊子『林中の人と文化』の発行である。昭和59年から昨年までに22集を刊行。資料・文献の収集、インタビュー調査には住民を挙げて協力しており、制作の過程が学び合いの機会となっている。発行後は、全世帯に配布して学びを還元し、郷土への愛着と誇りを育んでいる。 また、地区の伝統的な踊り「林中じよんがら」の伝承を願う地域住民の声を受け、平成23年に「林中じよんがら踊るまい会」を立ち上げた。公民館の呼びかけで現在、会員数は園児から大人まで約140名に増えた
29	石川県	はくいしりつちりはまこうみんかん 羽咋市立千里浜公民館	日本で唯一、車で走れる砂浜を守り、次世代に繋げていくため、千里浜を活用した様々な事業を実施している。毎年春には、黒松を植樹し、夏のあかつき遠足では、三世代で千里浜の植生等を学びながら散策し、砂像づくりや地引き網を体験した。その後、神子原米などの地元食材を利用した朝食会も併せて実施され、祖父母世代が他世代に昔の千里浜の姿を語るなど、世代間交流が密に行われている。 また、秋の文化祭では、毎年千里浜に関する展示等を実施している。公民館が作成した千里浜検定や、伊能忠敬滞在時の食事の再現展示、産卵に来るウミガメを題材にした寸劇を披露するなど、様々な場面で千里浜について学ぶ機会を設けている。
30	福井県	ふくいしりつわだこうみんかん 福井市和田公民館 【優秀館】	和田公民館は、地区の合言葉である「和田発展不已(わだはってんやまず)」のもと、子どもから大人まで幅広い世代の地域住民が積極的に連携・協力して各種事業を展開し、持続可能な地域づくりを推進している。 特に地域に存続する歴史を探究し、和田の歴史を寸劇で次世代に伝承するために地区民手作りの「くちバク和いわい劇団」を平成23年11月から立ち上げた。65年目を迎える「敬老会・ふれあいまつり」や和田小学校等で発表をしている。 この事業を通して、和田の“和”である「団結・つながり・絆」を大切にし、地区民の「地域力」を高めると共に相互間の交流が生まれ、地域のさらなる活性化に結びついている。
31	福井県	えちぜんしおおむしこうみんかん 越前市大虫公民館	「地域の大人が地域の子ども達を育てること」を重点目標とし、全ての学級(成人学級、女性学級、青年学級、高齢者学級)で子ども達との関わりを大切にした事業を展開している。「放課後子ども教室」では、地域の人材を指導者として活用しながら、さまざまな分野について子ども達が学べる教室を開催(全7教室)している。 また主体的に活動できる子ども達の育成を目指した自主活動グループ「HAPPINESSクローバー」を結成し、子ども達が企画運営したり、地域のいろいろな世代の人々と関わったりできる機会を設けている。そして「放課後子ども教室」で学んだ子ども達たち、中高生団体「HAPPINESSクローバーOGOB」の活動に参加して、次世代のリーダー育成を目指した事業に発展している。
32	福井県	みはまちしょうがいがくしゅうせんたーなびあす 美浜町生涯学習センターなびあす	生涯学習の拠点施設として公民館機能と図書館機能、文化ホール(劇場)が一体化した施設。美浜町生涯学習センターなびあすを拠点に、合唱を核にして、歌に集い、歌でつなぎ、歌声がこだまする、明るく元気な「美し郷(うましと)づくり」を目指し、「なびあすコーラスライン」と称す約70名の合唱団員が自主運営組織を立ち上げ活発な活動をしている。 文化芸術を創造し、発信する施設として、住民・演奏者・スタッフ等が施設機能を活かし、より良い鑑賞環境と心地よいコミュニティの場を提供するスタッフ確保のため、平成27年度より、町内在住の方に募集をし、登録制度を設け、催事等に大いに活躍している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
33	長野県	うえだしうえのがおかこうみんかん 上田市上野が丘公民館	本公民館では、平成24年度から「上野が丘 夏休み わいわい塾」を開催している。この事業は「公民館として夏休み中に、学校の枠を超えて集まり昔の寺子屋のような活動ができれば。」という素朴な気持ちから始まった「地域ぐるみの子育て」活動である。夏休みの4日間、午前9時から午後4時まで上野が丘公民館を中心に地域全体をフィールドとして児童生徒約100名、ボランティア約90名等が参加し、学習、座禅体験、地域探訪、野外活動等、様々な体験活動の場づくりを行っている。公民館管内地域のボランティアの協力を得て小学校も連携して行う本活動は、夏休みの子どもたちの居場所づくりのみならず異なる学校・学年・地域の大人と交流の場となっているとともに、大人にとっては地域の教育力向上の場となり、お互いのコミュニケーションの場ともなっている。さらに、こうした活動がベースとなり、地域ボランティアによる「学校支援」へと発展してきている。
34	長野県	いなしみすずこうみんかん 伊那市美篁公民館	本公民館で取り組んでいる「親子青空教室」は、農業体験活動を中心とした親子参加型の講座である。地域ぐるみで子育てを行うことをねらい、公民館が中心となり、JA、地区育成会、美篁小学校の4者の共催で行っている。農作物の栽培や収穫などを中心に様々な体験活動を行い、自然に触れ合う中で子ども達の生きる力を伸ばしている。また講座に参加する若い保護者にとっては、栽培から郷土料理作りまでを子どもとともに行うことで食育の大切さや地域の伝統食を学ぶ場ともなっている。本講座は平成14年から始まり今年で15回目となり、1年間の延べ参加者数が750名を越えており、活発な活動が続いている。
35	岐阜県	ぐじょうししるとりちいきこうみんかん 郡上市白鳥地域公民館	郡上市白鳥地域には、小学校6校、中学校1校、県立高校1校があり、それぞれの小学校区ごとに地区公民館を置き、各地区の6公民館で地域公民館を構成している。地区相互の交流を活発にし、公民館活動の充実につなげ、地域を元気にしたいという願いのもと中高生が活躍できる場としての「中高生公民館応援隊」が事業化された。 この「中高生公民館応援隊」による公民館活動の活性化という発想は今日「学校と地域の連携・協働」や「地域と共にある学校」が求められる状況のなか、中高生が自らの意志で参加することで、活動の楽しさや人とのつながり、やりがいを実感できる事業となっている。若者の思いが活き、若い力が結集することで、世代を超えた交流が実現し深まっていくと考えている。
36	岐阜県	えなしなかのほうこみゆにていせんたー 恵那市中野方コミュニティセンター	中野方コミュニティセンターは地域住民の生涯学習の拠点として活動テーマを「ふれあいとささえあい」として各種団体をはじめ、地域住民とのつながりを大切にしたコミュニティセンター運営を行っている。 住民の郷土愛、連帯感を深めるために郷土の魅力を形に残すという発想から「中野方かるた」づくりを開始し、実行委員会を立ち上げ、多面的に検討していくことで、地域の名所、旧跡、歴史、文化などを知ることができるかるたを完成させた。 地域・郷土に愛着を持った人材、とりわけ若い人材を育成するという観点よりかるたを制作し、具体的に活用する企画の実施や、実施後に聞き取り調査や会議等において振り返りを行うことで次の企画に反映できるように取り組んでいる。
37	静岡県	しまだしりつろくごうこうみんかん 島田市立六合公民館	六合公民館は、島田市六合地区にあり、行政サービスセンター・包括支援センター・放課後児童クラブの機能を併せ持つ複合施設として、子どもからお年寄りまでが集う生涯学習の拠点施設である。六合コミュニティ委員会の事務局も公民館事務所に併設されており、コミュニティ委員会と連携・協力により地域に根ざした事業を展開している。 平成5年に学校週5日制が導入されて以来、土曜日の子どものための有意義な過ごし方や居場所作りとして、公民館を活動拠点とした「六合子どもチャレンジクラブ」（一部六合コミュニティ委員会と共催事業）を開設し、地域の住民や学校と連携した自然とのふれあい、地域文化の伝承などの諸活動を通して、感受性を豊かに育むとともに、地域住民とのつながりも生み出している。
38	静岡県	ふじのみやしりつにしこうみんかん 富士宮市立西公民館	西公民館は、大宮西地区の公民館として平成9年に開館された。市街地にあり、サークルの活動も活発で、年間3万人を超える利用者があり、市民の学習の場としての役割を果たしている。 少子高齢化で人と関わる力が育ちにくい現代社会において、これまで家族や地域がつながることを目指した親子講座「西の音楽会」を実施してきたが、地区の社会福祉協議会でも西公民館を会場に『子ども遊び広場』や一人暮らしの高齢者を対象とした『ふれあい食事会』を同様の目的で実施していることに着目し、これらを共催して「人と人、人と地域をつなぐ」事業として取り組み、人とつながる良さを体感する機会を提供している。公民館が地域団体とともに事業を推進することで、地域住民との関わりが更に深まり、公民館事業の充実や地域の活性化につながっている。
39	静岡県	はままつてんりゆうきょうどうせんたー 浜松市天竜協働センター	浜松市天竜協働センターは、浜松市東区の和田・中ノ町地区に「浜松市立天竜公民館」として開館した。施設は100人収容のホール、料理教室、和室、講座室等を有するほか、体育館も併設されている。平成25年4月に施設名を「浜松市天竜協働センター」へ変更してからは、住民の活動拠点として地域コミュニティの発展を意識した事業をより多角的に展開してきた。 中でも、地域児童が対象の「子ども講座」では、地域にある新聞社の職場見学を行い、ものづくりの仕組みや企業努力の方策等を体験学習する機会を提供するなど、地域資源を活用しつつ、子どもたちの豊かな人間感覚の醸成にも資するような取組みを実施している。他にも、地域住民の様々なライフスタイルに応じた事業を行い、積極的に地域の活性化及び生涯学習の推進に努めている。
40	愛知県	おおぐちちやうちゆうおうこうみんかん 大口町中央公民館	大口町中央公民館は、昭和53年に総合福祉会館として老人福祉センター、図書館を含む複合施設として開館した。集会室を始め、調理室や小体育室など貸館対応の部屋が8室ある施設となっている。 地域の仲間や居場所を得て、より多くの町民が生きがいをもって過ごすことができるように、公民館講座や家庭教育講座等の開催、各種文化団体・個人グループやスポーツ団体等の活動などの生涯学習活動を行っている。地域住民の学習・交流・情報交換活動の場、あわせて地域の文化活動の拠点として幅広く利用されており、年間延べ52,000人程度が来館している。



No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
41	愛知県	へきなんしりつちゅうぶこうみんかん 碧南市立中部公民館	中部公民館は、昭和61年4月に発足した碧南市の新しい行政区である中央地区に時を同じくして誕生した社会教育(生涯学習)の拠点施設である。 中部公民館では、当館で活動しているグループや個人の1年間の成果を発表する場として、開館当初より『広めようふれあい 地域の輪』をスローガンに「中部公民館まつり」を継続して実施しており、平成27年度に記念の第30回目を迎えた。 中部公民館の特徴的な活動として、中央学区の幼稚園、保育園及び小中学校や中央地区町内会と連携した青少年健全育成運動が挙げられる。これは活動の場を公民館のみならず、学校や地域にまで広げ、地区住民総ぐるみで運動を展開する、実践的な活動となっている。
42	滋賀県	ひのちようりつみなみひづさこうみんかん 日野町立南比都佐公民館	南比都佐地区は町の南東部に位置する農村地域で、近年では社会情勢や雇用状況の急激な変化により地域の少子高齢化が大きく進んでいる。 そのような中、南比都佐公民館では、世代や性別を超え、地域住民相互の絆を深められる生涯学習の場となるよう「未来につなごう、ふるさと、ふれあい、まなびあい」を合言葉に公民館活動に取り組んでいる。特に学社連携の取り組みでは「子ども塾」と称した学習教室を開催し、その成果を地域の方に披露することで子どもたちの自信を高める取り組みや地域住民との交流型の通学合宿にさらに防災の取り組みを加えるなど、地域の課題を地域住民自らが知恵を出し合い、解決するための活動が公民館を中心に実施されており、当町が誇る先進的な公民館活動が実施されている。
43	京都府	きょうたんごしあみのちいきこうみんかん 京丹後市網野地域公民館	網野地域公民館は、公民館施設を持たず網野体育センター内に事務局を設置し、網野体育センターをはじめ様々な施設を積極的に活用して網野町ウイークエンド事業「ユッタコ仲間」や「京丹後市歴史探訪講座」、京丹後市高齢者大学「網野学園」など、周辺の施設や自然を活用しながら、住民ニーズを反映させた各種事業を展開している。 また、網野町公民館連絡協議会の事務局として、旧来から、広範な町域にある地区公民館の活動を充実させるべく、地区公民館12館の間の連携を図り、地域のつながりを意識した公民館活動の活性化に努めている。
44	兵庫県	かがわしりつひがしかがわこうみんかん 加古川市立東加古川公民館	当館では、子どもの学習支援及び居場所づくりに重点を置いた「東かまなBee」や「夏休み子ども体験教室」を開講している。これらは、公民館登録団体や高齢者大学生等の公民館利用者がボランティアとして参画し、子どもたちの学習支援の場としてだけではなく、講師となるボランティアが、公民館活動等を通して得た知識や技能の学習成果を活用して子どもたちに伝える「学びの循環」の場としても機能している。 また、高齢者大学では、生きがいを創造し、自助・互助の心を養うだけでなく、4年間の学習の成果をボランティア活動や地域づくり等で発揮できるよう計画している。年間24回のカリキュラムを組み、生活に役立つ講座等も充実している。 これらの取組を通じてさらに学びを深めていく生涯学習を推進し、学びと実践の一体化を図っており、地域の社会教育の場として大きく寄与している。
45	奈良県	ならしりつとみおこうみんかん 奈良市立富雄公民館	当該公民館は、公益財団法人奈良市生涯学習財団が指定管理者として管理・運営を行っている施設である。同財団は、職員の持つ社会教育・生涯学習に関する専門的な知識・経験(社会教育主事等)を活かし、市内の生涯学習センターと23公民館の指定管理者として多彩な事業を実施している。 富雄公民館は、大阪へ電車で30分という奈良市西部に位置し、緑豊かで静かな住宅地の中に設立されている。公民館の管轄地域は広く、古くからの住宅地では住民の高齢化が進む。一方、宅地開発により新しく集合住宅が立ち並び、子育て世代の増加も著しい。そんな中、子育てに関する情報交換の機会提供が求められることに着目し、精神的負担を軽減することを目指した「とみお☆カンガルーくらぶ」を4年前より実施し、音楽や体操など様々な体験を通して親子が一緒に楽しみ、子どもたちの成長を共に喜び、学び合う場を提供している。 また自治会会議への出席や地域の行事に積極的に出向くなどして地域の現状や学習ニーズを把握し、小学校や社会福祉協議会、近隣の大学との連携・協働した体制づくりに努めている。
46	鳥取県	とつとりしりつせいきちくこうみんかん 鳥取市立成器地区公民館 【優秀館】	公民館が中心となって地区内の多くの団体と連携を取り、過疎化と高齢化の進む地域の活性化に真摯に取り組んでいる。平成23年度に完成した殿ダム及び因幡万葉湖を地域の賑わいの拠点として、地域の魅力発信に取り組んでおり、特色ある取組である「殿ダム因幡万葉湖ウォーキング大会」は、公民館を中心に地元住民及び団体による実行委員会を組織して実施し、参加者は年々増加、地域間・世代間交流と地域の活性化に繋がっている。加えて、殿ダム関連の食や歴史、音楽などに関する他の企画と合わせて、さらに地域内外の住民を呼び込む取組として今後の発展が期待できる。また、この大会をきっかけに結成した地元特産品の展示・販売を通して地元の食文化を発信する「成器おもてなし隊」は、世代間交流を促進するとともに、地元の人的ネットワークの広がりに繋がっている。公民館の文化部や体育部等の各部会において事業評価を実施し、公民館運営委員会の承認を得て次年度事業に繋げている。
47	鳥取県	よなごしかすがこうみんかん 米子市春日公民館	地域資源のホタルの復活に焦点を当て、原風景を取り戻す活動を通して子どもたちの健全育成と地域住民の交流を図ろうと、公民館の呼びかけで立ち上げたホタルネット春日の活動は、地域の団体や人材がまとまる契機となった。活動開始以来、ホタルの飼育やホタルの育つ環境整備から、小・中学校の授業をはじめとする子どもたちの学習活動の充実にも活動が広がっている。また、子どもたちが一年間をおとして活動に取り組むことで、大人たちを巻き込んでいく仕掛けにもなっている点で他の公民館の参考となる。子どもと大人と一緒に活動に取り組むことで、大人の学ぶ意欲の向上のみならず、子どもたちのふるさとを愛する心の育成にもつながっている。年間40回程度の企画会議を行い、子どもたちとの関わり方やホタルの育成などについて協議することで活動を深化・拡大させながら継続に繋げている。



No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
48	島根県	まつえしまねこうみんかん 松江市島根公民館	近隣市街地や県外等への若い世代を中心とした人口流失が進む中、若者や地域の大人の地域への愛着や誇りを育む活動を通して、地域へ住み続けるまたは地域を離れたとしても地域へ思いをはせる人であってほしいと願い取組をしている。その1つとして、地元の漁師が語り継いできた「大漁節」を復活させ、公民館が核となり、島根町大漁節保存会、小中学校をつなぎ、大人と子どもを対象とした地域伝統芸能教室(大漁節教室等)を開催し、後継者育成を行っている。また、教室で学んだ大人が児童生徒へ、中学生が小学生へと次世代の指導者の育成にもつながっている。 「大漁節」を学んだ小中学生、大人は、学習発表会や地域行事等で積極的に発表をしている。小中学生は保存会の指導の下、発表等に創意工夫を凝らして地域活性化の一翼を担っている。
49	岡山県	やかげちょうなかがわこうみんかん 矢掛町中川公民館	中川公民館は、幼児から高齢者までの幅広い年齢層が公民館に集い、絆を深めるよう多種多様な事業に積極的に取り組み、地域に開かれた公民館として、地域づくりの拠点となっている。幅広い年齢層を対象とした事業や交流行事として、Kidsわいわい塾(小学生)・ときめき楽習(3世代)・男の台所(男性)・なかがわこころのふれあい交流会(高齢者(多世代間交流)等の年齢層に応じた事業や、運動会・盆踊り大会・公民館祭等の多世代が交流できる行事を切れ目なく実施し、公民館が地域住民の絆を深める場として機能している。 また、夏・冬休み期間中、小学生に対する学習支援や自然体験学習活動を行う「めだかの楽校」を中高生の公民館活動ボランティアTEGO隊とともに企画・運営し、小学生の居場所や中高生の活躍の場の創出に大いに貢献している。
50	岡山県	おかやましりつさいだじこうみんかん 岡山市立西大寺公民館	西大寺公民館は、ESDの視点を取り入れた主催・共催講座を通して、地域住民が主体的に学び、持続的な地域づくりに関わる取組を積極的に展開している。公民館講座を通じた地域の賑わいの創出として、「うどん作り講座」の受講修了生と連携し、地域住民にうどんをふるまい、交流の場を提供する「うどん亭のつどい」を毎月1回公民館で開催するとともに、地域の福祉施設等にも積極的に出向き開催し、地域の賑わいづくりに大きな役割を果たしている。 また、夏休み期間中、小学生と共催で実施している、小学生対象の「夏休みフリー塾」では、大人だけでなく、地元の中高生がボランティアとして、学習支援をはじめダンス・料理・国際交流・生け花・琴・和太鼓等多方面の体験活動を行っており、子どもたちの居場所づくりを通して、世代間が交流する場を提供する役割も果たしている。
51	広島県	ひろしましうしたこうみんかん 広島市牛田公民館	平成元年に開館し27年が経過する牛田公民館の所在する地域は、市街地に隣接した住宅地であり、交通の便が良く、また、スポーツセンターと併設していることから集客に恵まれている。広島市内の公民館の中で常に上位の稼働率で、多くの地域住民・市民に利用され、親しまれる施設となっている。 「ピカドンたけやぶ音楽祭」は、公民館の活動グループや地域の子供たちが、原爆が落とされた際に多くの人が避難したといわれる地元の「竹やぶ」を題材に創作された絵本「ピカドン竹やぶ」を主題とした合唱や音楽劇等を発表し、地域から平和への願いを発信する事業である。平成17年から継続して実施され、子供から高齢者まで多世代の地域住民が世代間交流を図る中で、被爆体験の継承や平和の大切さを伝え合う機会となっている。参加者、ボランティア、観客数は回を重ねる毎に増加しており、「平和」というキーワードを軸に、地域が一体となった住民主体のまちづくり活動につながっている。
52	広島県	たけはらしりつただのうみひがしこうみんかん 竹原市立忠海東公民館	竹原市の東部に位置する忠海東公民館は、平成3年1月に開設され、忠海小学校区内の東部エリアで地域住民の「学びの場」だけでなく、「交流の場」、「地域活動の場」として、地域とともに歩んできた施設である。忠海小学校をはじめ、自治会、地区社会福祉協議会、女性会、子供会など、各種団体と連携・協力のもと、公衆衛生活動、高齢者福祉活動、子育て支援活動、青少年育成活動等を行うなど、生涯学習の成果を生かし、人づくり・地域づくりに積極的に取り組んでいる。 「世代間交流(地域交流)「忍者でふたまた探検」」は、公民館、小学校、子供会、地域ボランティア、保護者等の多くの地域住民が連携・協力し、子供たちの「忍者」になるという夢をかなえ、大人と子供が非日常の体験を共有することで、子供の人間関係形成能力や郷土愛を育む事業である。学校統廃合といった地域の背景を踏まえ、地域の子供を地域みんなで育てることを通じて、地域住民間の「絆」を深め、地域連帯意識の醸成につなげている。
53	広島県	しょうばらしさいじょうちしんこうせんたー 庄原市西城自治振興センター	庄原市西城自治振興センターは、地域課題を解決し地域活性化を図ることを目的として、「もてなし(都市部との交流とローカルビジネス開発の推進)」「さとやま(地域の環境整備と里山の管理・保全)」「やすらぎ(高齢者の生活支援や生きがいづくりの推進)」「まなびとふれあい(地域住民の親睦と人材育成)」の4つのプロジェクトに精力的に取り組んでいる。 「やすらぎプロジェクト」は、高齢化率が50%近くある地域の特性を踏まえ、75歳以上の高齢者200世帯を訪問、聞き取り調査を行い、そこで明らかとなった地域や個人が抱える課題解決を図る事業である。おでかけツアー、出前講座、野菜のインターネット販売、農家民泊等の各種取組は、高齢者の生活支援や生きがいづくりに効果をあげ、地域の活性化に大きく貢献している。また、地域課題解決に向けた学びや活動を通じて、若い世代から高齢者まで多くの住民の地域に対する愛着や誇りを醸成し、地域づくりを担う新しい人材育成の取組が進んでいる。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
54	山口県	いわくにちゅうおうこうみんかんつづぶんかん 岩国市中央公民館通津分館	「地域の子どもは地域で育てる」「子どもたちに地域に対する愛着心を育む」という視点から、通津分館では、10年以上前から公民館の社会教育指導員が、通津小・中学校へ赴き、公民館事業への理解と協力を求めてきた。 また、山口県では、コミュニティ・スクールが核となり本県独自の取組である「地域協育ネット」の仕組みを生かして、学校・家庭・地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」を進めている。 こうした中、通津分館では、公民館を中心とした地域と学校の連絡・協力体制が構築され、家庭教育学級講演会や体験講座、乳幼児家庭教育学級等の公民館活動を学校施設を活用して開催している。
55	山口県	さんようおのだしこうようこうみんかん 山陽小野田市厚陽公民館	平成26年度からの市の正規職員配置に伴い、本県独自の取組である「地域協育ネット」の事務局を学校から厚陽公民館に移し、そのネットワークを活用することとした。こうしたことにより、公民館職員が中心となって手厚くよりきめ細かい学校と地域の連携ができるようになることと、学校・地域連携のコーディネーターを公民館職員が支援することができるようになった。 現在、厚陽公民館では、これまで以上に地域が学校を支援し、また協働の取組を行うことで、地域総がかりで子どもを見守り、まち全体が活性化する仕掛けづくりを行うことにより、学校・家庭・地域の連携の促進、学社融合を見据えた学校支援の仕組みづくりを推進している。 その他にも、誰もが自由に記事を持ち寄れる協育ネット情報誌「厚陽っ子だより」を定期的に発行することで、具体的な取組の様子を地域に幅広く知らせ、情報の共有化を図っている。
56	山口県	うべしかみうべふれあいせんたー 宇部市上宇部ふれあいセンター	地域行事に参加する住民に偏りや、校区社会教育推進委員会の活動が活発でないなど、センターと自治会活動との連携が取れていなかったが、センターの取組を見直し上宇部校区全体を学びの場とした住民参加の取組を推進している。 センターの学習講座である「まなびや」をセンターのほか小学校や中学校を会場として開催するなど、多世代が共に高め合う生涯学習の場の提供を図り、それまで関心の薄かった住民の参加のきっかけをつくり、地域を元気にしていく取組をしている。センター職員を核とした地域と学校の連携・協働の体制ができていく。 その他にも、「かみうべまちの駅」では、住民や中学生が参加してまちづくりの方策を共に議論し、アイデアを出し合い、活動へとつなげている。
57	徳島県	あなんしりつとみおかこうみんかん 阿南市立富岡公民館	阿南市立富岡公民館は、地域における社会教育の拠点として、住民、各種団体や幼稚園、小学校と協力しながら、世代間交流を行い、地域の活性化に取り組んでいる。 特に、こども伝統文化体験事業に力を注いでおり、茶道や等々の伝統文化を子どもたちに体験・修得させることで、次世代に継承し普及させている。また、伝統文化体験を通じて、日常生活における礼儀作法の習得や感謝の心の醸成にもつなげている。さらに、異年齢の子ども同士の交流を通して、社会性や協調性、主体性を養成している。 また、恒例行事となっているイベント等を通じて、地元ボランティア、幼稚園、小学校、PTA、セニアクラブ、婦人会など世代を超えた交流事業を企画し、地域のつながり、地域力の向上に大きな成果を挙げている。
58	愛媛県	せいよしゆすかわこうみんかん 西予市遊子川公民館 【最優秀館】	遊子川地区は、四国山地に位置し、近年著しい少子高齢化・過疎化の影響に悩まされているところであるが、西予市遊子川公民館は、地域住民にとって身近な公的教育的場、相互教育的場、自己教育の場の中心として、各種団体との連携により、地域に根差した活動を推進している。 地域住民自らが地域課題の把握と解決に向け、様々なテーマを設けて開催する学習会「夢かけるフォーラム遊子川」を27年間継続してきたことによって、地域住民が主体となって取り組む体制が構築され、世代や職種などを越えた住民の一体感の醸成につながっている。また、地域の伝統文化の保存・継承に努めて愛郷心を育てるとともに、地域の豊富な森林資源を活用して木工文化を導入したり、地域住民手作りの自主企画映画に挑戦したりするなど、地域のコミュニティ力の向上や持続可能な住民活動に大きな成果が上がっている。
59	高知県	なんこくしりつこくぶこうみんかん 南国市立国府公民館	国府地区は、741年に創建された国分寺を擁し、平安時代の国府跡、戦国時代の出城跡など、貴重な史跡が数多く残されている。国府公民館では、国府史跡保存会との共催で歴史講座を開催したり、史跡を巡りながら環境美化活動を行う「ふれあい歩こう会」を開催したりするなど、史跡を活用した世代間交流を行っている。 また、かつて行われていた七夕行事を、平成24年度から公民館事業として復活させ、公民館を拠点に、地域で活動している組織・団体と連携して「国分川ふれあい七夕祭り」を開催している。子どもや若者から高齢者まで、幅広い世代が準備の段階から関わっている。 学校や保護者、地域と連携し、小学生を対象にした俳句教室を通して、児童の感性を養い、伝統文化の継承を図る取組など、他の地域のモデルとなる活動を行っている。1000年を超える歴史と伝統を、公民館活動により、地域全体をまき込んで未来につないでいく取組は、特別なものである。
60	福岡県	おおむたしみいけちくこうみんかん 大牟田市三池地区公民館	平成25年から、地域の特性を生かし、歴史と史跡をテーマとした「ふるさと大牟田講座」を開設している。三池地区炭鉱関連施設の世界遺産登録という機会を活かし、これまで以上に市民の故郷に対する愛着と誇りの醸成を図るため、身近な地域資源について学ぶ機会の提供に取り組んでいる。また、講座の構成の工夫、関係者と連携・協働した講座運営によって、受講生の新たな学びを生み出すとともに、成果物が小学校や地域で利用され、郷土に対する愛着と誇りを生み出すきっかけづくりとなっている。 さらに、各講座の反省点を館内において情報共有するとともに、社会教育委員で構成される公民館運営委員会において各事業の点検・評価を実施し、翌年の講座の企画、運営に活かしている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
61	福岡県	かんだちょうりつきたこうみんかん 荇田町立北公民館	荇田町に多く居住している外国人に対する理解を深め、外国人の孤立化防止と共生可能な仕組みづくりを地域課題とし、「かんだ国際交流ひろば」として実施される本事業は、外国人を取り巻くコミュニティの拡大を生みだし、日本や日本人を身近に感じる「場」の提供につながっている。外国人とのつながりは、公民館を外国人やその家族にとつての相談窓口や情報提供の場として位置づけ、「生きづらさ」の解消にもつながっている。さらに「ひろば」への参加者が講師として講座を持ち、自国の文化を紹介するなど、自信を持って地域社会に参加する姿も見られる。事業運営に関し、公民館運営審議会の意見を反映させ、生涯学習の推進が図られている。
62	福岡県	むなかたしのうそんじよせいはいえ 宗像市農村女性の家	「地域の子どもは地域で育てる」「巣立った子ども達が将来、吉武地区に戻ってきたいと思える地域をつくる」という明確な理念のもと、各種事業が推進されている。未来の人材育成を目指し、地域住民、学校、関係団体等が連携・協働した総合的な取組が推進されている。学習指導に加え、日常生活に関する躰、地域の伝統文化の保存継承、適切な遊び及び生活の場が提供され、月に1回広報誌において発信することによって、それぞれの立場での事業への関わりが価値付けられている。事業の点検・評価については、役員会、運営委員会、評価委員会、総会の場で行われている。特に寺子屋については、寺子屋学童運営委員会が実施されており次年度の事業運営に活かしている。
63	佐賀県	さがしりつたかぎせこうみんかん 佐賀市立高木瀬公民館	「子どもの声が聞こえる公民館」として、子どもを取り込んだ講座や事業を地域ぐるみで実践している。地域教材を活用した連帯感の醸成に積極的に取り組んでいる。 「探そう！高木瀬の『よかい(=良い)ところ』～自治公民館めぐり～」では、小学校の5、6年次に、自治公民館をめぐり、地域の良さや魅力について地域の大人から学ぶ取組を平成20年度から実施している。教える大人も事前に調査と学習をすることで、地域の魅力や特色を広い世代が知り、地域の連帯感が高まっている。この取組により、地域に誇りと愛着を持つ小学生や地域の大人が増加している。また、本事業に参加し中学生や高校生となったOB、OGたちが、公民館の他の事業にも協力してくれるようになった。
64	長崎県	ごとうしさきやまちくこうみんかん 五島市崎山地区公民館	平成24年度から、公民館・PTA・学校、婦人会、若者会、老人会を中心に通学合宿を行ったり、地域の伝統である宮相撲(小・中学生相撲大会)を地区の方々から大会前に作法や取り組み方について指導したりするなど、地域と一体になって活動している。 五島特有のお盆の風物詩である念仏踊り「ちゃんこ」を継承すべく、公民館を舞台として地元中学生が地区青年団に指導を受け、市民運動会でも成果を披露している。また、土曜学習「みたけっこ」のコーディネーターを公民館主事が担い、科学教室や正月め縄作りなど、様々な体験活動を行っている。新春には恒例の「新春子ども百人一首大会」を公民館運営審議委員や地域の方々協力いただき実施している。 このように崎山地区公民館は住民が集い、子供を育て地域も育つ場であり重要な拠点として存在している。
65	長崎県	しまばらしりつすぎたにこうみんかん 島原市立杉谷公民館	25年前の雲仙普賢岳噴火災害の影響により、当時の杉谷公民館は現在地に移転した。同様に島原市立第四小学校も移転となり、二つの施設は敷地を隣接する形でほぼ一体的に整備され、互いに顔の見える、連携する上でも好都合な立地条件となった。 地域に密着した公民館運営に努め、小学校と地域の合同運動会や、町内対抗ソフトボール大会の運営を行うなど地域スポーツ行事や、青少協と天神講書展を実施するなど地域文化行事への支援を活発に行っている。 女性学級や家庭学級、高齢者学級における応急手当や子育て、健康等各種講座も充実させており、その中でも、地区の若手女性保護者を中心とした「Soyざい(そいざい)」は子どもたちの夏祭りの支援や公民館の事業等にも積極的に協力を行っている。また、従来の地域の社会教育関係団体をはじめ、学校と地域をつなぐコーディネーターとしての役割も担っている。
66	熊本県	なごみまちみかわこうみんかん 和水町三加和公民館	和水町内では、三加和公民館と和水中央公民館を設置。三加和公民館では昭和60年からお姑世代の方々を対象として、月に一度「コスモス学級」を開催している。交流だけでなく生涯学習としての学びの場を提供することで、心身共に健全な育成にも寄与している。さらに、町内の文化振興に寄与するだけでなく、修学旅行といった親睦をさらに深める企画も行われていることで、新たな交友関係を広げ、得意分野の講師をお互いが担い、生きがいの増進にもつながっている。なお、このコスモス学級だけでなく、隣接する和水中央公民館と隔月で「ふれあい大学」も開設している。
67	大分県	おおいたしおおいたなんぶこうみんかん 大分市大分南部公民館	「集う」「学ぶ」「つなぐ」という公民館の任務や役割を十分踏まえた公民館運営がなされており、地域の実情に応じた学びの提供や地域リーダーの育成の支援、各種団体の連携強化が構築され、地域の中核施設となっている。 また、地域の各団体や大学等との協働により企画運営する「体験・楽習・すこやか講座『NANBUせせらぎスクール』」により、環境保全やふるさとの自然を見直す場、子どもたちが相互に理解しあう場となり、地域コミュニティの活性化につながり、地域の教育力の向上が図られている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
68	大分県	ひたしひがしありたこうみんかん 日田市東有田公民館	公民館は市内を流れる三隈川(筑後川)の支流有田川沿いに開けた地にあり、全公民館(20館)共通項目の事業は行いつつ、地域に根ざした新たな事業を展開している。とりわけ、少子高齢化が急速に進む東有田地区(39.5%)にあって、地域を元気にさせた「日本全国難読山名サミット」や「人財バンク登録事業」の取組み、地域のふる里を見直す「郷土史調査研究講座」や「東有田ガイドマップ」の作成、更には、ホームステイをしながらの「国際交流」の推進、そして、地域の方々が公民館に愛着を持ってもらうための「東有田公民館ロゴマーク」の作成等 他の公民館にない特色のある公民館活動を行っている。
69	宮崎県	しんとみちようちゅうおうこうみんかん 新富町中央公民館	中央公民館では、図書室(平成27年度末まで)を中心とした読書活動の推進や、公民館講座をはじめとする生きがいづくり及び文化活動の推進に取り組んでいる。また、地域の方々や自主的に活動している団体が積極的に活用し、交流の場ともなっている。 平成23年度からは、町民の日々の活動成果を発表する場として、「しんとみ生涯学習フェスタ」を開催している。さらには、社会教育関係団体と連携し、青少年の育成や、スポーツ活動の推進なども行っている。この他にも文化財保護啓発活動や、天然記念物の保護活動も行っている。上記の様々な取組を、公民館職員が地域住民と一体となって推進し、地域住民の学習活動に大きく貢献している。
70	鹿児島県	とくのしまちようしょうがいがくしゅうせんたー 徳之島町生涯学習センター	徳之島町生涯学習センターは、住民の学習意欲を高める「生涯学習フェア」や方言の日の啓発を目的とした「島口・島唄の祭典」、遠隔地の住民の要望に応える「出前講座」などを開催している。 また、家庭教育を支援するため、家庭教育支援員との連携により、子育てに関する学習・相談の場として「家庭教育サロン”ママnavi”」を開催している。 さらに、公民館講座の日報をもとに点検・評価を行うとともに、事業実施後のアンケート調査により成果と課題を把握し、次の講座等の工夫・改善に生かしている。
71	鹿児島県	かごしまちゅうおうこうみんかん 鹿児島市中央公民館	鹿児島市中央公民館は、多様な利用者の参加促進を図るため、館内のバリアフリー化や託児サービスを設けた講座の開催など、学習環境の整備を図り、年間の来館者数が13万人を超える。 また、住民の学習ニーズに応えるため、近隣の各種施設や企業等と連携し、「中央子ども土曜塾」や「シルバー人生大学」、「知って得する金融講座」などを開催している。 さらに、独自に策定した「公民館事業の自己点検・自己評価の評価基準」をもとに、自己点検・自己評価の結果から課題を明確にし、事業等の工夫・改善を図っている。
72	鹿児島県	かのやしたかすちくがくしゅうせんたー 鹿屋市高須地区学習センター	鹿屋市高須地区学習センターは、立地条件を活用した「ヨット教室」、地域の魅力を発見する「まちあるき発見塾in高須・浜田」など、地域の実情に応じた特色ある講座を開催している。 また、市民講座や同好会の講師や会員は、地域ぐるみで学校を支援する「かのや学校応援団」の学校支援ボランティアとして活用が図られ、学習成果の還元に努めている。 さらに、事業の成果等について内部評価及び外部評価を行うとともに、利用者のアンケートにより、職員の接遇や館内外の環境整備等の点検・評価も行い、改善に努めている。
73	沖縄県	なはしおろくみなみこうみんかん 那覇市小禄南公民館	小禄南公民館は開館以来、地域のコーディネーターとしての役割を担ってきた。平成8年、うるく地域づくり連絡協議会の設立に合わせて、地域の青少年が心身ともにたくましく健やかに育ち、豊かで明るく住みよい地域づくりに重点をおいて活動している。 毎年11月に「小禄地区市民大運動会」を、また2月には公民館まつりの一環として「うるく村あしび」を開催し、地域の交流の活性化を図り、青少年が「ふるさと 小禄」の誇りと自覚を持てるような活動を行っている。公民館を拠点として協議会と連携を取りながら「健全育成」「地域づくり」に取り組んでいる。